

週間市場レポート (2021年7月19日~7月23日)

1) 先週の市場動向

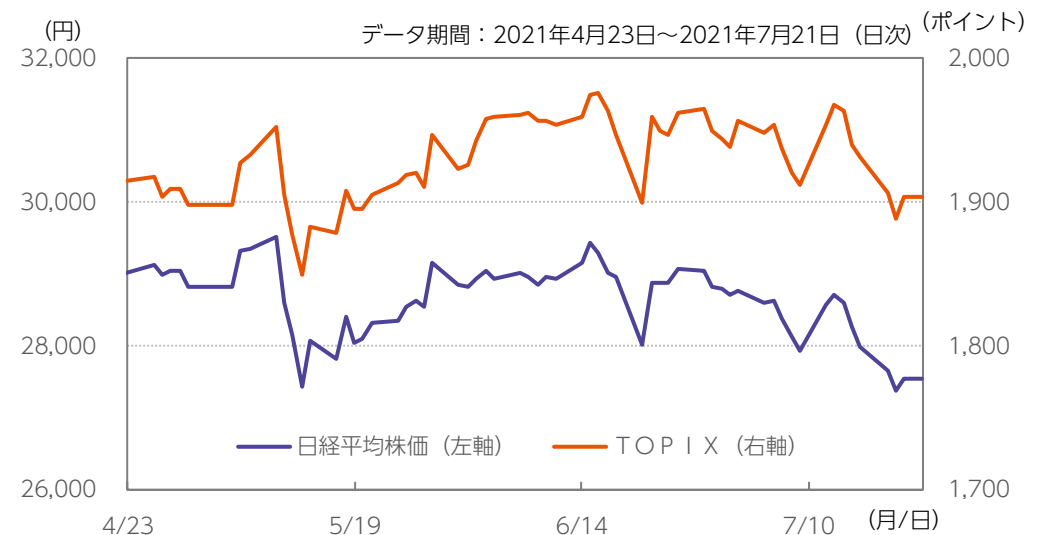
指数名	国	前週末 2021/7/16	先週末 2021/7/23	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		28,003.08	27,548.00	▲ 1.63 ↓
TOPIX (東証株価指数)		1,932.19	1,904.41	▲ 1.44 ↓
ダウ工業株30種平均 (ドル)		34,687.85	35,061.55	1.08 ↑
S & P500種指数		4,327.16	4,411.79	1.96 ↑
ナスダック総合指数		14,427.24	14,836.99	2.84 ↑
ユーロ・ストックス50指数		4,035.77	4,109.10	1.82 ↑
S & P/ASX300指数		7,341.99	7,386.37	0.60 ↑
上海総合指数		3,539.30	3,550.40	0.31 ↑
MSCI AC アジア (除く日本)*		1,056.38	1,034.55	▲ 2.07 ↓
東証REIT指数		2,177.76	2,145.08	▲ 1.50 ↓
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		886.65	888.92	0.26 ↑
ASX300 REIT 指数		1,542.80	1,554.30	0.75 ↑
グローバルREIT (除く日本)*		208.13	209.11	0.47 ↑
日本10年国債 (%)		0.025	0.018	▲ 0.007 ↓
米国10年国債 (%)		1.290	1.276	▲ 0.014 ↓
ドイツ10年国債 (%)		▲ 0.353	▲ 0.420	▲ 0.067 ↓
英国10年国債 (%)		0.626	0.584	▲ 0.042 ↓
ドル/円		110.07	110.55	0.44 ↑
ユーロ/円		129.95	130.11	0.12 ↑
英ポンド/円		151.55	151.96	0.26 ↑
豪ドル/円		81.44	81.44	▲ 0.00 ↓
フィラデルフィア半導体指数		3,145.45	3,280.06	4.28 ↑
WTI原油先物 (ドル)		71.81	72.07	0.36 ↑
CRB指数		212.58	216.60	1.89 ↑

2) 日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫ (2021年7月19日~7月21日)

日本株式市場 (日経平均株価) は、前週末比で下落となりました。

新型コロナウイルスの感染拡大による景気先行き懸念により先週から5日続落し、20日 (火) の終値は1月6日以来、およそ半年ぶりの安値となりました。21日 (水) は、5日間の下落幅が1,300円を超えていたことから、値ごろ感や戻り期待からの買いが優勢となり、景気敏感株を中心に幅広い銘柄が買われたものの、22日から始まる4連休を前に手控えムードも広がり上値は重く、週間では下落となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

※現地通貨ベース *1 ▲はマイナスを表します。 *2 日本市場は祝日のため7月21日の騰落率を掲載しています。

◀ 債券 ▶

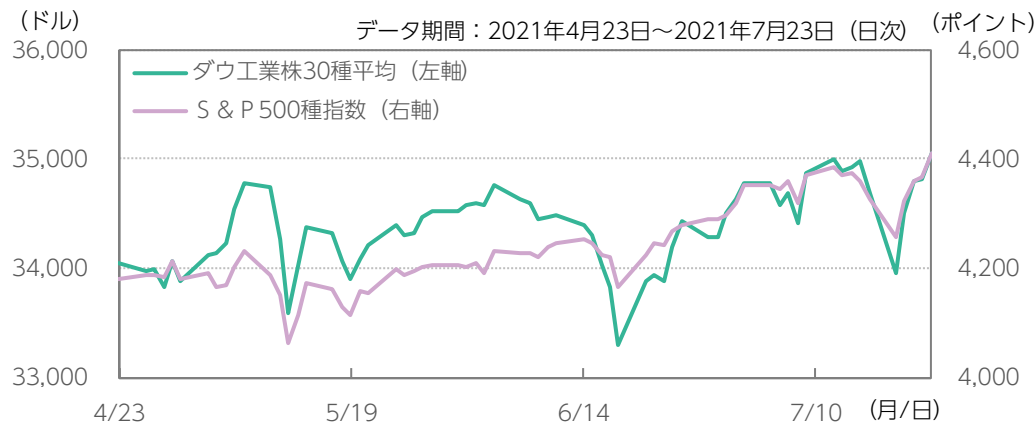
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で横ばいとなりました。新型コロナウイルスで感染力の強いデルタ型の感染拡大が、世界景気の回復を遅らせるとの見方から米長期金利が低下した流れを受け、国内金利も低下したものの（価格は上昇）、国内長期金利がゼロ%以下になると、投資家の需要が乏しくなるとの見方から持ち高調整を目的とした売りもあり（利回りは上昇）、週間では横ばいとなりました。



3) 米国の株式市場

◀ 株式 ▶

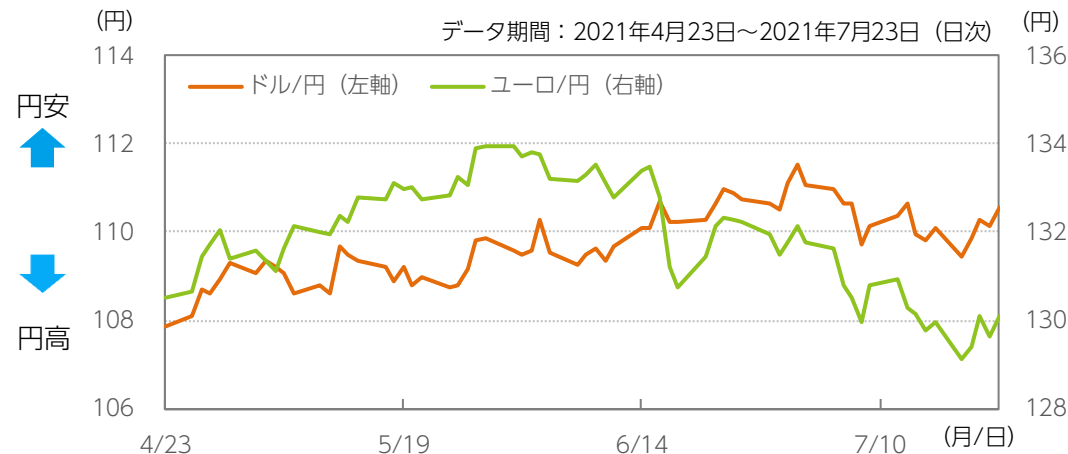
米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で上昇となりました。米国でデルタ型による感染が拡大し、景気の先行き不透明感から景気敏感株を中心に売られ、週初は700米ドル超の大幅下落となりました。翌週に決算発表を予定する主力ハイテク企業の業績期待や、経済活動の再開を受け市場予想を上回る好決算が好感され4日続伸し、週末の終値は史上初めて35,000ドルを超え、過去最高値を更新しました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で横ばいとなりました。米長期金利が1.2%を下回る水準まで低下したことから、日米金利差の縮小を意識した円買い米ドル売りが進んだものの、米企業の好業績を受け投資家のリスク選好姿勢が強まると、相対的に安全資産とされる円は売られ、週間では横ばいとなりました。



5) 今週の見通しについて

先週の国内株式市場は、新型コロナウイルス感染拡大への懸念から、前週末比で下落となりました。一方、米国株式市場は、米企業の業績期待から上昇し、NYダウは市場最高値を更新しました。

23日（金）に東京五輪・パラリンピックが開幕しました。7月12日に東京都に4度目となる緊急事態宣言が発令されたものの、東京都の感染者数は連日で1,000人を超えるなど感染拡大が続いています。米国でも、感染力が強いとされるデルタ型の感染拡大が続き、新規感染者数が増加傾向にあることから、経済活動が停滞するとの懸念が強まっています。

今週の株式市場は、米主力ハイテク企業の決算が相次ぐため、業績期待から買いが進みそうです。一方、27～28日の日程で開催される米連邦公開市場委員会（FOMC）で、量的緩和の縮小（テーパリング）の議論を見極めたいとの市場参加者も多く、上値の重い場面もありそうです。新型コロナウイルスのさらなる感染拡大への懸念も、引き続き上値を抑える要因となりそうです。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>